自分で決める進路！

しんろニュース

草津養護学校進路指導部　2024年９月

2学期が始まり、子どもたちのにぎやかな声が学校に響きわたっています。前回のしんろニュースでは、高等部3年生の現場実習を中心にお知らせしました。今回のしんろニュースでは、高等部２年生の現場実習の様子をお伝えします。また、小学部や中学部において確認をさせていただいている「進路希望調査」にある「将来に向けてつけたい力」に関わってお伝えできればと考えています。

■小学部・中学部「進路希望調査」～将来に向けてつけたい力のために～

小学部や中学部の段階では、「まだ先のこと」と捉えがちですが、「進路について考えること」は「将来一人の社会人として、充実した毎日の生活を送るために、今、何をするべきかを考えること」なのではないかと感じています。今できることを、一緒に考えていきましょう！

【小学部での学び】

小学部段階では、生理的基盤を整え、日常生活全般において「生活の力」を身に付けていくことが大切です。子どもたちの「やってみたい」「できた」等の日常の積み重ねを大切にしていきたいですね。

【けんこう】
- 生活リズムをつくる、整える
- 心身ともに健康な身体づくり
- 自分の健康を管理する
- 自分の障害を理解する

【くらし】
- 日常生活動作や基本的生活習慣の獲得（トイレや食事、着替え、睡眠等）
- あいさつや返事ができる
- 感謝の気持ちを伝えることができる

【まなぶ・はたらく】
- 物や人への興味や関心をもつ
- 物や人との関わりの中で試行錯誤しながら考える
- 人（家族・教師・友達）との関わりの中でコミュニケーションの力を豊かにする
- 様々な役割があることを知る

【たのしむ】
- 好きなことを見つける
- 「好き」「嫌い」を知り、表現できる
- 地域資源を利用して楽しむ（サービス事業所や、地域活動への参加等）

自分でできること、色々やってみよう！

【中学部での学び】

小学部でつけてきた力を基礎として、中学部ではより興味や関心の広がりを見せる時期です。家庭での関わりだけでなく、より積極的、主体的に社会との関わりをもつことが大切になってきます。学校では、クラスだけでなく、クラスを超えた仲間や教員とのつながりの中で、多くの経験を積み重ね、意欲や協力・協調等の力を身に付けることを大切にしています。外出等で、自家用車だけではなく、公共交通機関を利用することも貴重な経験となっていきます。

【高等部での学び】

一人一人の能力や適性に応じた自己選択・自己決定ができるように「作業学習」や「現場実習」を通じて、生徒なりの「働く力」を身に付けていきます。

☆なりたい自分　☆めざす将来の姿　☆夢と希望　⇒　「自分で決める進路」

■高２年生現場実習真っ最中です①

【A事業所（自立訓練）での実習】
事業所までは、公共交通機関を利用し、自分の力で通所します。この日の実習内容は「美術」で、ペットボトルキャップを使ったキーホルダー作りに取り組みました。色や形をイメージしながら、普段使うことが少ない道具（ここではアイロン）等を活用し、作り上げていきます。その他、国語や数学（公文）、武道、書道、話し合い活動、演劇等の様々なカリキュラムに取り組み、その中で自己決定をする力や社会で生きていく力を身に付けていきます。

■高２年生現場実習真っ最中です②

【B事業所（自立訓練）での実習】
決められた時間に、事業所の集合場所へ自力で向かい、送迎車を利用して事業所へ通所しました。事業所で１日の作業内容を確認した後、畑へ移動し、トマトの収穫や草抜き作業、水やり等の作業に取り組みました。別日には、検尿キットの袋詰めや、施設外の作業として福祉センターのトイレ清掃も体験し、事業所の利用者さんと一緒に5日間の実習を終えることができました。

■高２年生現場実習真っ最中です③

【C事業所（生活介護）での実習】
朝、諸準備を済ませて、体操から１日がスタートします。３日間の実習の中で、ネジ（ボルト）作業やシール貼り、ワーク等に取り組んでいます。学校とは異なる場所であったため、少し緊張しながらではありましたが、事業所の活動に気持ちを寄せて活動することができました。日を追うごとに、事業所の雰囲気にも馴染み、初めての実習を経験することができました。

■高２年生現場実習真っ最中です④

【D事業所（企業）での実習】
自宅から公共交通機関を利用して、出勤時間に間に合うように出社します。当日の業務の確認をした後、割り当てられた業務を進めていきます。商品の品出しや陳列、値引きシール貼り等、初めての仕事を時間内に進めていきます。
普段は買い手として利用する場所ですが、売り手としてお客様のために業務を行うことで、働くことの意味合いを考えることや、学校ではできない経験をすることができました。